特別
チ12
3643
25

故梅若誠太郎氏
昭和四年青甚
梅若重戸氏
寄贈
新潟県立図書館

目錄

蘇鉄 一
老松 五
志賀 九
右近 十三
寢覺 十七
皇帝 廿一
金札 廿五
源氏供養 廿九
定家 卅三
手鄣 卅七
二人靜 四十一
吉野靜 四十五
高野物狂 四十九
誓願寺 五十三
雲林院 五十七
雛彼 二
白樂天 六
養老 十
竹生嶋 十四
江嶋 十八
九世戸 廿二
岩永 廿六
宋女 三十
江口 卅四
千手 卅八
舟弔慶 四十二
櫻葉 四十三
松風 四十七
羽衣 五十一
雲雀山 四十六
六浦 五十
西行桜 五十四
小塩 五十八
弓八幡 三
白髭 四
氷室 八
吳服 十二
大社 十六
代主 十九
嵐山 廿四
夕顔 廿八
佛原 卅二
楊貴妃 卅六
玉井 十五
逆矛 十九
和布刈 廿三
行端梅 廿七
鄂宮 卅一
芭蕉 卅五
卯女 四十
舟定 四十四
鷺鄂 四十八
吉野天人 五十九
胡蝶 六十

春栄 六十一　錦木 六十二　芦刈 六十三　安宅 六十四
盛久 六十五　小袖曽我 六十六　小督 六十七　松虫 六十八
七騎落 六十九　西王母 七十　東方朔 七十一　通明寺 七十二
猩々 七十三　鶴亀 七十四　邯鄲 七十五　唐船 七十六
天鼓 七十七　梅枝 七十八　富士太鼓 七十九　三笑 八十
一角仙人 八十一　三輪 八十二　竜田 八十三　巻絹 八十四
室君 八十五　張馬 八十六　花月 八十七　書写居士 八十八
自然居士 八十九　放下僧 九十　玉葛 九十一　浮舟 九十二
通小町 九十三　三井寺 九十四　桜川 九十五　百万 九十六
柏崎 九十七　奇石 九十八　山姥 九十九　春日龍神 百
善界 百一　鵜馬天狗 百二　車僧 百三　大會 百四
善知鳥 百五　阿漕 百六　舟橋 百七　夜鳥 百八
鐘馗 百九　鵜飼 百十　項羽 百十一　節分 百十二
舎利 百十三　第六天 百十四　龍虎 百十五　烏帽子折 百十六
熊坂 百十七　正尊 百十八　忠信 百十九　橋鉾慶 百二十
大佛供養 百二十一　夜討曽我 百二十二　禅師曽我 百二十三　錦戸 百二十四
岡柄 百二十五　葵上 百二十六　安達原 百二十七　鉄輪 百二十八
羅生門 百二十九　紅葉狩 百三十　大江山 百三十一　現在鶴 百三十二
張良 百三十三　小鍛冶 百三十四　土蜘 百三十五　大蛇 百三十六
傾城忠度 百三十七　生田敦盛 百三十八　知章 百三十九　巴 百四十
雷電 百四十一　屏風 百四十二　須磨氏 百四十三　絃上 百四十四
海士 百四十五　融 百四十六　當麻 百四十七　合浦 百四十八
大瓶猩々 百四十九　猩々 百五十

高砂

松は其色変らぬ
ものにて秋の時をわかぬ
ものなれども
春の時至
れば千年の色色のうちに深く
みどりの花の咲ていろ
かをまさるを松のえだ
ぶりとの松葉の露の玉
ぶりとなりて
ものとなりまあのうけふるロクや
紀貫之長谷の
土佐にみやこ
恋ひ
秋風聲水声遠萬物の
芸の林の東風
まものくも皆和奇の
を洗松葉末
ぶ松の緑
皇の市爵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

難波の春も深みゆく色のえれかのきもうつ
るかな春海波とは是沙彦神と云ふの道
きくふ都のきみ屋くはそれそ還城楽
乃まひ舞て万歳の小忘衣さかりいる
よろこぶ君慶をりひはるる子ゆゑ寿福を
とくまぐれ天ハ民をなでくる萬歳楽ゆゑ命
をのふ相生乃松風颯々乃聲ゆたの〜む
〜〜

難波二

山〜唐国乃荒磯の浦伝ふもこゑ〜
万歳乃まつりとそくやのよて慈悲ゑ
海空海ゆ普くはきめるゆとうくりの
天くたれ陸も高氷ゆくれをうるとや
高き屋ゆのほりてみまとは嬉ゆ邸のかまそ
ゆるきこをひゆまりるゆ厳ゆ叫吉ゆくも
ひてきりくうゆ天ゆまゆ世君の代く

ゆためをひくすもゆ右難きみとのり
国くゆあまねくこ三年乃出頃ゆるルゆて
其年月も穏まれ波の生砂の数乃
こうて宮ゆ豊年の出頃ゆるルゆ
ゆくくやまふこゆ出賓乃宇秋万歳
乃ちはゆ面をたくまつる恵まハ普き
出口のゆはて波ゆて鴻のゆまく
波ゆ乃ゆひろき出恵こ華洞山のうきよ
ゆも志きこれ教も大君乃国ゆまハ出ゆ水
を学ハ乃ゆ津乃国の難波の梅の花よ
志れゆ匂ひも四方ゆ普く花ひらんハ
天下皆生ゆ乃世ゆ万代の春ようめてら
きゆこゆ萬代の高砂花く宮ゆ久てきる
ゆ住津の音語ゆ面白き ゆ
ゆ難波津ゆ鳥乃一色物ゆとふ鳴鶯乃
春の田春学物をそくちん 不思議やは

[illegible]

十八番帝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]りて去る為物の楽とハ[illegible]
去ル[illegible]
為[illegible]秋乃[illegible]
[illegible]蜀嚴楽ハ[illegible]
故とハあ[illegible]海の[illegible]
按頌の曲を[illegible]
[illegible]
[illegible]

出板紙

[illegible]地神も感恵の海山はるかなる治代なる立
[illegible]国をもうけ給ふ物語の所の神
[illegible]
[illegible]
[illegible]衣更えの神楽の歌をそ
[illegible]千代の白色を打ちのぶ
[illegible]神楽を奏して君を祝ん
[illegible]治代なる立
[illegible]
[illegible]
[illegible]

現大隅さつ八幡の神徒ゆくりあり
きたく

白鬚

釋迦世尊西天小世界に出現給ふ
釋尊其教門を天竺に弘宣給ふ
志賀の都に我八相成道の法門いきり
流布の地に生の有り有つきやそ
世尊涅槃の後千年を普く弘行して
後しきるまんくこある大海乃上に
切元甘露右佛性の花常住無有変
易の波乃色一紫の芦より出て
之乃鴻と成る波の大宮控現出
ぐこの御りの色其後人壽百歳乃時
志道とせれ弘りくバ千年乃末の比頃
西面西右脇仰拔花の浪と消給ふ
乃佛法常住不滅法界の物神なり

八番乃塔の鴻と成り中津國を御
覽ぜる小時八うりやうきなせすの
乃法代なるまハ仏法乃名字を人もを
小法蔵山の麓乃浪やの高賀の湖の過
に釣とする光箱あり尺寸小向つ
ふ箱をり法地乃ものあったる沈山を拔よ
あ又仏法きりい乃地とあ乃つと宣
乃箱笠つくりやう我人書いる蔵の
初めより法山のうちてい水海の七度
まで弘法の風もまもりあたり
箱地だく法地きついと成るハ釣と
乃可乃ものとふりを宣ぶ光沢る
力あるハ八番光云物ゑんと志行ハ
河内の国方より海於世界のあり楽
阿陀あとゆるくきかるや釋尊
元地小仏法をひろめ行ん事ゆ我人

壽二万歳の巫うそ世間乃ものたまこと
花翁いまく我をもうぶ給ん乃ぞ沙山を惜
うまつりたまや開闢志給へ我も沙山の主と
なりうぶ玄ゐ五百歳乃紙法を守りて
少部うくきいやくし給ひしく一佛東西ふ
りイ給ひ既所の義も今れ白鷺の神と
なやみきるうそ如ほと迦妙る神秘
をかてる義乃ぞ名ハ出つかか
今を行うたふ乃ぞ名ハ出つかか
志義るる和使を感ゆ中ひんとそぶや
家ゐ知りたり弾更と賀ハ大燈鬼鞍
神前ゐ来規の時命ゐれハ皆く給ふ
幸
乃と申ゐ乃やも志さゐよ行ゐ落ん
名る風の音老乃張もうるる鶴の義と
みうる我白鷺乃神うとて玉のだし
らを押ひうき社檀ふへを給きうく

出版一版

八乙女乃ぞ後れ色ふきぬう敷も拝
幸
もみく神乃ひわうまる物うるかる
神さんのうやまうるる風とまん御
てや是ハ勅の使あふとても移給りわう
上ヲ月
かうまや社檀のうちまるぶ城ゐ所城
沙色をかぶ郷もとつうるおきの玉うう
くやま流る白鷺乃神の八すう影も
たり乃ぞ百歳乃沙事やがるきうふ
あるゆも貴ゐ君乃ふかきうと感波神と
うる屋きと
楽乃曲を奏ぶ和彼をかく乃め中さ
ぶと
上ヲ月
神楽さいうろうよぶやや
行のやうく秘曲をつう指るをうろて
天遊乃華楽ハ右鈴や左鈴岡白や沙華玉
ゐくの敷ハたのたうぶうう浪の玄私
風ハ琴をもうんん耳をもまんれうよ。

楽

[illegible]れ雲井くもやきわたりこ[illegible]
[illegible]の面鳴動するハ大雷龍蛇の出現も[illegible]
[illegible]く神前まで[illegible]
[illegible]天地乃あ[illegible]
[illegible]河第木のくもやきわたり
[illegible]日夜乃きつまつくくくりきり[illegible]
[illegible]もくもや明方乃つくくあもくもや明
[illegible]のく明神小川と成り
[illegible]神も出色をあきくぶんさいく
[illegible]天地ハあ内ちゆまくこ立ク
[illegible]神ハ[illegible]の上ゆきくく深を
[illegible]くくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中栖とかく文字ふりて見をとるべき
二十一文字の俳諧の意味の出
和漢の歌人あらそひ無ましたるそら
なるべとも栖みとまえつる富の色を
始うてその命を新類の人のたく
なるに幸をとるべ多くあるそ海の
濱の美物の枝をふせとるいきる和田し
をとるをもとりうるや和田の仇信のごく
四方きる海士人の名香物を習ひられ
迷和田のもて遊ひ和幸をとりて舞
手の西をとるそもやうく
乃海ひらぶをやくく雅なん 誰なる
こてもなるをよ。拙をまあらハ世華楽の
円歌八海の音曲を龍のかもをもを舞人
を沈射り花乃るこの上をけるく海ふ
濱ひつ海音楽をまつ
芦原を

中人書序
先板紙

もノ序

国心動り蒔中世 山法のうるこの
水のまるく海乃 濱のたるこの海音楽
西乃海あをきく原波間より 主頭を
り住吉乃神ハ美よりのかるすくるの
あるをれり行吉乃神のちら
ら乃あん行をれ日中を波ひ
りをもやふ浦乃波寄り 楽天
うをみう規く 伊勢石清水か武
乃原潟海方勢田お藝の巌潟
乃明神ハ蝦蟇龍主乃美三の姫を
ふるく海上ふうく海音楽をまの
るを大龍主乃田とうう宝
海ふかをうつ遊ふ小忘衣乃ハ風神
ひをふ吹ととふ唐紙ふ変ふ濱
ふ濱りをもを方猫や神ををるを者
ふ神とをふ代のうを風ふ乃をく

雨月　七月

[illegible]村雨の宵ゆるをやぶる星小野の嵐や
らんぬれぎぬきけハ時雨なりてぞ行まさに
秋夕月　竹弱れ松ハ吹まるるをや
青雨ふるくさ[illegible]小夜の嵐乃吹落
くぼ[illegible]の[illegible]の月
をもふ[illegible]をもきけ[illegible]ふく関乃竹弱の松
乃枕ぢくハをみのれ岸乃波をほと迎
志ほ寝の[illegible]
枕さても爰ハ[illegible]
ふよ[illegible]
[illegible]世乃わ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

志賀

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中人雪序
天安出雲紙
天安筆

[illegible]
[illegible]の氷室とて夏衣
[illegible]神にゆるきすきあり[illegible]
なりや氷乃あのごとく調乃道も直まあ[illegible]
都よりさやゆるき物さ[illegible]
路乃山つゐてふ[illegible]冬の氷の山[illegible]
[illegible]乃[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]山乃
[illegible]氷室を守護[illegible]
神[illegible]
[illegible]
[illegible]氷室乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天女背紙

[illegible]

天女衣

[illegible]

早苗

[illegible]

苗劔

[illegible]

[illegible]

吳服

[illegible]

[illegible]

国とみやこをゆくうなり　東南雲れるまゝ
「羽衣」「西の海」「三保の松原」「熊野」「こゝ」「こゝ」「こゝ

五段目

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]社と[illegible]

[illegible]神のお社と[illegible]

神と[illegible]

[illegible]行きの[illegible]

[illegible]

[illegible]

上月

天女彼一版

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

海路のきつゝ多くしん　四月
きげつつゝの宮もとゝ海中みな
おさ海くあり　四月　大日ふくせうしいやてを
みを澤地お送りつきにんを行なま
たをれりまを　天安元　大へしミミフ
大夫せん

十八雷布
敏紙
天廿二人

をのゝ雲ゝ奴宮敏おのゝ
上地　上地
十五　たのくをを指きつかく豊姫あよう
二人の姫宮金銀ヨんをふをとうをへ
ゞをふしきをよう祖勅射を待ふかふ
つゝ乃ゝをを拾ふせよ　まゝと乃君ん
めいを迎ひげゝつゝの宮ゝをてうきんを
十五　上地
十五て天孫のみまゝをたくまり
上地
十五　塩満きをひるゝつれををくてうき
をゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
姫ををゝ神をを乃てを楽ををうゝを
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
ゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ

天安華

[illegible]

[illegible]

[illegible]

年御

[illegible]月も照そふ乾の海ゆきを
[illegible]をとろかしわくつるの名道
わくつるの名やぬ[illegible]
蟹ゆゑ殺あすりたるを[illegible]
やうふあ[illegible]
[illegible]
[illegible]

天女出破

時雨る空も雲もなく月も輝く玉の御殿
小忌の袖ふるまひ乱れ　我八重山雲のみち
きに迹をたれ仏法を守りの神　本地
十羅刺女　紀現の姿　宮殿奉麗の神
乃神ゆくえ　ゆくも　ゆくも　弁の花
白ふ袖を返す遊の舞楽　八乙女の
上月　天女舞　十二　ひあり　舞の神　おひしや雲ぐ
まうう　法神　のうこ　顕　舞楽
う　神前　舞　行　やう　海　あ
垣　やき　神　神　あ　升　ま
雲　花　相　始　ま　れ　う　神　徳
ら　花　の　恵　邪　迷　遊　神　怒　安
いた　ち　所　叩　ま　れ　人　と　ち　め　ん　扇　神
楽　の　役　ら　ハ　住　吉　明　海　物　懲　国　宝　邪
三千世界　れ　法　神　八　宝　小　歌　向　ま　う　ら　く　の

早笛

小忌の神　ふ　く　を　面白や　十二　舞楽　と　う　海　を
時　ち　く　ま　う　ち　を　時　雨　紙　雲　の　ば　す　う
ま　て　吹　立　波　ハ　海　龍　王　の　出　現　や　神　勇　を
海　龍　王　ハ　我　ま　也　扇　も　毎　年　竜　宮　ま　う　ら　示
祝　の　箱　ハ　小　龍　を　い　ま　神　前　ま　指　中　也　ま　神
則　あ　く　ら　ま　く　く　ま　く　く　ま　く　く

社内ぎふあるくなり神を社内竜神ハ海
中にいるきり

寝覚

さて
りもの給ふの内乃人々の老翁ハせ者もそ
出ずるくぶ共をあつりら思ふとおられ
出くゝ福覚乃庚申ふる年と送乃年ふ
命めくたきらとりを形ゝ三度わるく故
ふるもこと乃義とゞ分をうう方財義
中やうぎ中ゝ中ゝちやきものをたくゝうう乃
名を雲乃上ふ行とちきハ黄泉ゝ定名
ゝ乃名ゝ悪魔をきくゝ行ふ也我ハ又
乃系乃威徳をかゝくゝ大乃ゝ伐をわるゝめと
思ふそと勅使ふやとゝきゝて勅使長旗の色を
ゝ知つりふとの行つハ行をつもゝ我
諸国年経くゝ乃ゝ義なるゝ国ゝふ
ゝたゝ勅使ゝくゝ御使ゝ改月井後

ゝ乃ゝ第楽を考ゝ乃ゝ中ゝ又ゝ音楽をあゝ
乃ゝ人とゝふゝのゝくゝ乃ゝ老翁ゝ名陰ふゝ乃と
乃ゝくゝ行清ゝくゝ乃ゝ如ゝくゝ行ふ
乃ゝふゝ清ゝ行ゝ乃ゝ行ゝ乃ゝ行ゝ乃

乃御業を授る事多けれども
是なり　老翁收容の思ひをなして
のたまひを聞て彼まれ人の作意の神通自
在の術を彩て表接の方法を行ふ
華御相殿
叫て時うつり此時は
みしらを新使まあるて先迎ひとて
う事橋ゆらまとうら海の海の龍神も
東西の龍神ひとつ共に
ふあるまいあもちろくと明りこの事に
もちろくと明りこのうちまの神変ぶめたり

江傳　十八

水山乃流れ
堺中の物清浄うり白雲乃中物多の前よりう
らんひらきて翠屏あるられうり岩窟れ裏て
ひろ小ふく織くる岩尾れを底うり蔵くる水
を西天乃甘熟池の池あるとうや　強之篇

乃他人の洪池をまのて掘うり緑泡有縁れ敬
自八洪為まきうりくせ神道ひく　二世安楽の
洪を底の張り形を吹けるまきうり底て入い
みへ武彩相撲の坂の鏡会海月れ間小路の
さまとうの水海あり彼の海の大蛇をあり云
多ひとりまうて宮の山あり澄準の鼻
胡鞍乃あきと敬み白日をつれぬさ月小蛇
雲をまつの勢ま八神武天皇うり蛇仁皇
乃御宮迄八十代の帝御宮の元百人余家の御
世をと御く国中にうて人ともう景行天
皇九州宮の小至り熊襲ひくけんはを
皆石窟小源ますと洪矢の拝洪り別ば時小
天狗を龍の四八御ら勇ひとしるのく教せを
うるの山四の奇後人とうるいま帰のくうり我
なとて宮く地御御八龍王も是に急
作ぶうり教害をうるく善心を四旨龍宮

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]千早振神の[illegible]
[illegible]
[illegible]

代主　二十

[illegible]王城の[illegible]寺[illegible]

[illegible]

[illegible]

出雲國

[illegible]

神楽

[illegible]

なるもいたも其聲つきあはせて[illegible]

歳の日方乃國道あれば[illegible]

皇帝　九一

[illegible]

早笛

[illegible]

天べしミ

鳴動する社たるゝ事きわまれ　社先ハ武徳年中
小猪宿きゝれ　鐘楼大仁乃精霊なり　初九月
若羅宮　御小光院乃やまをたゝきんこ
通力をとゝのゝく寺殿宮殿南無天祝宮主
我釵湾宮と秘文をこの駒の条　庭宮
を翔つゝく赤門きり　忠兎八先をくるゝ
をゝく　寄きさを紀　御まき社小つゝれきを
鐘楼乃精霊馬　すたち利剣をひり
ひき祈をかさ　明王鏡を出る紀　宮神の
海をかゝれ　宮神八通力自在も先て

御伽

ゝくだをつまるひつをを追つめ紀
沙鉢をこひなり　六宮乃西猪小足あのをの
かり物をとり社ゝ　利剣をふりあけつ
ひきまきりを　庭ふるきをゝ忍ま貴
兎も息災行世者乃先ゝをあのき寺社
とゝ　ゝ武神をゝ　ゝたくまりゝて安

を夢とゝ　ゝ　ゝ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事かのうしと思ひ給へ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天女舞

神あそびにつゝやみ給ふ神楽の歌色濃てゞく
庭後の移とひろ四つ一調と舞楽の秘曲し度
童ひとく感應所小巻たゞ思絵や
南の方より吹くる風に言葉して相宮た
ひまく金色なる光りもて紅ふ花王座
現の笛現のやケ和光利物の心をゝ

早笛

我中光の都とかゝく分段同語の座ゝまゝハ
又金怡あ部の一又をとりつけを 悪業の孔は
の苦患をゝ子けり ひとゝ又座ゝに沙弥わ
ちて 忽苦海の海の海の極をもらひ 悪魔深
伏の四蓮のまゝ引ゝに沙弥を放りて四方を
てゝ花せを寄ちうひをあらゝ二百とり
ひく花王座現四解又石の海をみきくを
の人あゝの山まゝのゝ和ふたりあ
指ふ行ひくゝ行ひくゝ家も金の峯れ光ひ
強く子れ猿ゝくの光の巻ゝ

ワキ上ヲ
りゝゝ
出故一度
知度公所ハ
出故紙
他切の所
又改ナリ
ゝ花の四ゝ
ゝ海ゝて神の御決もゝ
ゝ
ゝ

ゆくえにたがさまる代なるまゝに東夷西戎南蛮
小秋乃ぬまの[illegible]を[illegible]敏と綱の君
ともの屋小戸と守りの[illegible]小宮ふださま
[illegible]たのきゝ[illegible]おろ[illegible]毛[illegible]敏さ[illegible]井ろを
[illegible]すゝまのゆるゝ奴[illegible]代[illegible]ゆにき敏

岩船

上ろ[illegible]上り
四小四の[illegible]時津[illegible]
ごまと[illegible]の寶[illegible]
[illegible]代[illegible]
天乃さくめら岩舟[illegible]
我[illegible]界[illegible]
秋津嶋根乃竜神也[illegible]
[illegible]みハ治る[illegible]代[illegible]
[illegible]寶乃[illegible]
[illegible]初もゝとやく世[illegible]
寶[illegible]
[illegible]敏[illegible]
岩[illegible]あま乃[illegible]敏の[illegible]

平笛

[illegible]敏[illegible]
めゝ[illegible]代[illegible]
以[illegible]
[illegible]
行[illegible]
ふひゝ[illegible]
乃岸[illegible]寶乃[illegible]舟[illegible]
[illegible]
[illegible]
小[illegible]
[illegible]
[illegible]

九重の禁中乃宮地ゆゑ王城の鬼門を守り
給ふ宮殿をはじめ諸々の社寺乃山陰の叡山河
やまと白川乃流れも尽ぬ名所乃ながめ八音楽の
響を聞とやらん庭の池水とたゝへ鳥き
鳥乃池中乃樹間八ゆく月下のつゞく人跡
宮人乃ゆく末乃樹間八ゆく月下のつゞく人跡
ゆくれ行てをつゝ孫とゆくを落ちゝ花ちり右
樹八青ゝ新緑の初夏乃ながめ
頃遠の緑をやまゝ面白鶯の囀
九夏三伏乃ながめ
秋きぬ夕べとれば
水面底の松乃風一聲乃あきをもよおし
上水の流れのきよみを池乃ほとりの月か
げ八化粧せ乃相をえ
命をきゝふとゝ
書き夜乃間をあやかり
みゝ
やはり
乃
東小浴湯の時
書乃

序の章

夕顔

中ゆゑ世乃人の恋ふとゝ
情の道も深ゆゑ
河の通ひ路乃
乃玉鉾
中宮
乃
ものゝあはれ
乃小家乃
花乃
みゝ
乃
乃
乃

色八白露の情をさきる言の葉乃ま
ゝと寄人乃園の扇乃色ことふたゝひか
秋の契りといふ乃ち簾目のみち乃
迷ひのゝ道もなく世ハ計ぶかり
蜉蝣乃命無たる行ゆくなゝ秋乃日やを
名ゝ言いてゝ宵乃まゝゝ古郷の松のひ
きも松ゝゝ風あはだゝ
乃きゆゝと思ひてゝ
もゝのやゝ
思ひ行ゝかゝ人きいき消ゝ
とのゝ
名やゝ夢ゝ
かきもゝ
ゝ月ゝ
ゝ法華ゝ
御ゝ

一日イヨ

つゝゝきゝゝ
ひゝ有ゝ
ゝ
乃端ゝ月数乃ぶ
ゝの家乃消やゝ
を問きてゝ
のゝゝ乱踊秋ハ
草ゝ
ゝ
わゝ
日ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

源氏伝説　十九

[illegible]

[illegible]

[illegible]と深みよたらめしころや是も結縁の有
[illegible]夢のうき橋を打渡りの朱定を
[illegible]南京西方弥陀如来狂言綺語を
[illegible]舞式アかはのうをだにきかんと
[illegible]ちるもは鐘うちうらうて旦向を既終り
[illegible]白やまひ人乃[illegible]
[illegible]を祈り　[illegible]原式の跡あとを
[illegible]ちかうらて我をまもん蓮乃花
[illegible]たのうや　[illegible]やあたき秋乃ひろ
[illegible]乃はをびつまあ[illegible]あきうほ乃露[illegible]ま
[illegible]うを[illegible]世
[illegible]葉もうゆ[illegible]舞式郡と
[illegible]石山の観世音叹ハ浮世ハ[illegible]て
[illegible]物語是も思ひ夢乃ちと人よ
[illegible]方便きちをひ[illegible]思ハ
[illegible]夢の浮橋もゆ乃あひのことはなりく

宋女　三十

[illegible]君よ仕へ人甚[illegible]
[illegible]宋女の[illegible]夜ゆ[illegible]舞乃四[illegible]たき[illegible]
[illegible]過ぎ仕へ[illegible]乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

序歌

月まなをかすめる雲井のちとせ　天津乙女
ら袖の万代を　万代と浪の初をお段衣が
つるまでき奴岩屋の　松乃葉の数
うせもてるこの乃うるわしつてこそ鳥
乃為絶ぬ天地をこやうよ國土安穏よ治海波
御代の御乃面乃る浪の池乃面み緑
雲紀乃く初乃さきもうとをかの遊楽の
よ顔乃笑の周縁の初をの弟せ紀
乃やとて乃浪よ入よきりまく波の底よ入
乃もの

鄙宮　八一

會者定離の句ひ中よりも寂しくや哀
乃世とぼ乃ものそれ紅ひきり　初もあら
奴月乃露の光源氏わりあくも君ひくふ
ゆき通ふ　ものろ乃ものと忘の名を焼まく
絶く乃中ものうしふやうきあ乃ひら
水思ひまて紅ゆ乃ものの宮ゆ合入
紅ゆ乃思ひまものうきりやあらの紅皆
せとろつく出乃也もかまくふ紅乃
響臣も花ひきあ通ろう紅の句も
まそ句かつて君家ふ門ゆてさせ紅ひ
紅く情を通て初く乃高砂の歌も名く
乃思のうろ彩ある　岩ほろうの浦

[illegible]

[illegible]

[illegible]

序歌

月ゆとかつらきさ[illegible]
やまとうたの[illegible]
[illegible]乃直前も[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

「日ごろ海の心うぞ」とものきこえれば
霜うちもとく行末とぐ世ふみうり山あひの
神の御ものの音ごきこみそ
賀茂の社流れも御ものの神や
もものうみ人の契りれ出さるべきつ
ぬとあり世のあくるの中の名ハを
もとくぐもの写えハ方れ申たうろき日の
えぐ雲の通路絶果てじめの海さるえぬ
ぬき備ものみやこ方も遠人通
やるき君ろうこの品の涙しき四まて
思ハるる親四九ヶ月の菊と明ハ秋く清水
ものいとなく都もやうて高あ宿の陸これ
まとハ荊の髪も西とほ露ものふ
きしうる高槻とたとせ行ものすれ
ものうこきも須なく吾服ろうわ色ハ
物雅やん離ものでもなき身のもてあさ

うの君と行のうあるうハ踏りても行ものう
ものき花ハうや草葉の思ハ出よ吾名
ものもめうハ世うう歌ものうこ式の母親
玉ぶ延みう身れ歌まこの海ものの石
小踏ハ旅たふでれ人ハ見みハ広つい菊ものこ
きたもけ絶と云ものとみて世ものきぐく
ものもるる月影ものく花鳴ものかとうき
身の浦のる露の月ものの移るる常
如鶴ハ世絶やく 雲ものの日の移るる常
うハのの山月ものもたうつ雲ものよ周のうつ乃
花鳥月ものの詠ものうこのほう道首を
色ハ広く成情ものもう翠帳紅閨の地とう
明の雲 外れ雨とものうこと色今のうも雲色
規ものまほうを世ものて跡も
強ものハ行中ものの草の陰ものハ津の名ものて
うとハつものさ宮家うこ光見ハ僧

アレライ有ノ
汎出ス
カニ云ハ
ル云ハ
ミヤカ地
ヲツ之

序寂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

序ノ章

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

序章

霜乃ふて[illegible]草

[illegible]

芭蕉のあるじ[illegible]

[illegible]

楊貴妃 北六

[illegible]行き中者四滅のこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

序文

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

序年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御女 四十

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二人辭　四十一

海路日記

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

方軍吒利天王西方大威德金剛夜叉明王中央大日如来動明王の五尊を
て祈り奉るに悪魔降伏せざる事なし
弁慶毎夜力を合せ清水を汲み
ほとゝぎす鳴き入る程怨霊を慰めんとて遍
ひ物をのせ又引塩よりゆられ流れまくひく
塩ふゆるとなりきく弥陀仏とそ唱ゆなる

壇浦

四十三

中ゝも源氏の船の乃宮と申ハ女三の宮と申
らぬ女二乃宮ハ比叡の御神の
右衛門の尉と申し人船の乃屋を乗り
ら女三の宮を見奉りとゞめ
奉るを源氏の人々船の乃屋
ゆ行よひろめきんぬ
むもこ様を人の
名ゆ乗り移る船宮乃ま
たくゆ乗り奇有ゝく高砂乃宮

少ゝ諸女よ浦山里よ伝ゆひ
しゆ乗り乃大船の西ひて
行馬も見ゆの山ゆとゆ
ゆそと山ゆそ乃ゝとゝ
日を乗ゆ乗ゆ乗ゆ
ゆく山里乃おゆ
乗ゆ乗ゆ乗ゆ
乗ゆ乗ゆ乗ゆ
乗ゆ乗ゆ乗

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

吉野辞

[illegible]

[illegible]

[illegible]

都へ三てらう巡りされ

雲雀山　四十六

朝あらしやまちかく雲雀の鳴ふほろひまふ
鄭躅ハ春遊の人乃折とをてはとろくまれ
夕の中ハ胡蝶のあそひあるきよめてゝもとれ
是ころの花ゆゝしく正ハ　ゆゝしきもの侵花
乃友春ハ四月情山賢乃花ハ　さらに色ふかめ
一枝乃行ゝきれハ夜乃うゝ有き所
もとをうつりかふ雲雀渦つる杜若ハ　ゆゝ
るゝ乃面影のこゝ乃ゝよ鳥乃鳴うゝ
迄才乃ゝ山きくゝ　ゆゝれさよ河ゝてゝ花ふ
笑く鶯とうゝ乃ゝ心思ハ乃家を　ゆゝ草
乃ゝ花けゝ花夜野とゝ山ゝ出ハもとゝ
人ゝもゝ乃ゝ迷ハうゝにおもとゝ
あゝれぬ　ゆゝきゝを河ゝまゝくゝ
カヱゝ出ゝに　ゆゝこのゝ花乃ハ也

序ノ章　中商三月

てゝ乃ゝ乃ゝとゝ乃ゝ金河ハ河ゝ
きゝ高間乃山ゝ嶺ゝ　ゆゝ
乃ゝ乃ゝ雲雀山ゝ陽花ゝ
ゝ乃ゝ乃ゝ鶯の里くゝ
ゝ乃ゝ雨ゝ乃ゝ
乃ゝ果ゝ
ゝ乃ゝ山中ゝ
鳥乃雲雀山ゝ

松風　四十七

あゝゝやゝゝもゝゝ
松風も村雨を紅のゝ
とゝ乃ゝ
弥ゝ
れゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

我あとをひとくさをひろひ給へいとあはれ中くらく浪乃
音のいとあはれ乃うつ乃きく物やうろ乃山たちし
南路乃島もこゝ乃くさ乃ものあもあき
く村雨とも〳〵色の紅葉をもゝ乃くあもあき
の、こゝろ〳〵

熊野

四十八

花乃ゆ蝶乃羽ゆ乃うつる色柳ゆ乃ゆ行く
ゝる金箔乃流水ゆ乃つく音乃ゆ乃ゆ乃
鐘乃寒雪乃濁る色の玉乃ゆ乃ゆ乃清
水乃聲乃聲ゆ乃神園精舎をあらゝ諸行無
常乃ゆ乃ゆ乃地乃精規の花乃色ゆ乃双樹
乃ゆ乃ゆ乃世乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
鷲乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
ゝる峯乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
京乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃

然程精規乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
乃稲荷乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃ゆ乃
乃花

出ゝ所ゝ所ゝ所

[illegible]

六浦

[illegible]

[illegible]

羽衣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の海つらふる波をみくだらぬ[illegible]
[illegible]方乃色[illegible]浦山しくもなる涙のとうら泳
めゆき信濃なおそ[illegible]
[illegible]夕氣色[illegible]
[illegible]
[illegible]乃橋[illegible]
過[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

夜の鐘乃響きそうなる　芭蕉翁情の表遊

やがて明るくなりぬるとき八時ばかりなる時分

[illegible]

今年の　花のくもりぬるもまた

ぬかるまでうるあまぐもて花あるもくまて

もろくくあるまでふるきそう　もろ山の花も

清水のうきそうもはまるをうの山陰よりあるよ

ほくろの花乃まてれ夢八ひめよりゆめハ

さめてきうあるも宮も散くゆ花を踏てハ

散くく情を少年乃春の秋を明るゆ

箱ひらく沈る句　二り

遊行柳　五十五

則西行よりとうとうの一株ハ私のちうもん

や西皇帝のくハてうう心ぞや結ぶ風の音

ふるくる柳乃一株の[illegible]乃[illegible]くち

さかりの[illegible]流る[illegible]

[illegible]

[illegible]柳の傷ものうもとや其部[illegible]

[illegible]宮前乃楊柳[illegible]

[illegible]名木[illegible]乃[illegible]清水ち

[illegible]五色よみえ[illegible]瀧を青[illegible]水

[illegible]色の[illegible]朽木れ柳[illegible]楊柳

観音とあらはれ今[illegible]絶[illegible]生

あらたなる歩[illegible]地[illegible]部の

[illegible]宮人の[illegible]鞠の庭[illegible]

乃木陰[illegible]音ハ柳

[illegible]錦[illegible]諸人の[illegible]

[illegible]風の白ひ[illegible]

虎の引綱もなくき思[illegible]地[illegible]柳

乃[illegible]名路もう[illegible]や是々老[illegible]柳

[illegible]の将衣とかされ[illegible]も[illegible]

[illegible]乃木の柳氣力[illegible]

[illegible]人を現とみるそ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雲梅院　五十七

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月の都の日毛東の[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅花に縁りて[illegible]を花姿をうつす僧正遍昭
[illegible]の心なり　又句の法門を[illegible]
うて句を賦したるなり　俳諧きく唐土の[illegible]
たるゝ夢の小蝶の姿うつるうき世の中
うあはれなる定めなりきせとはひるゝ[illegible]
ねとりけうき光源氏の乃ち小蝶の舞人色く
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

春栄　六十一

[illegible]十二因縁より二十五有の沉淪ぜずして[illegible]
[illegible]流轉あるべきやぜんれ親の皆ありて[illegible]
[illegible]自他の人[illegible]羊鹿牛車あり[illegible]大宅
[illegible]乃ちひとりして煩悩業苦の河の縄を[illegible]
[illegible]なるべき[illegible]流轉して人間界まで
[illegible]ひとつの[illegible]ひとり離れ[illegible]因果経を[illegible]
[illegible]報乃報恩の源をたづね[illegible]車海の[illegible]我人を生へ
[illegible]なるべき[illegible]渡るべきひの海よ
[illegible]流の無始の[illegible]
[illegible]神国と云ふ[illegible]仏法流布の時
[illegible]の流れ[illegible]
[illegible]人界をひとく来
[illegible]迎乃表念仏色清の四乃形[illegible]

[illegible]
[illegible]の浮[illegible]ろを[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]道勝[illegible]
[illegible]長岡[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

錦木

中つたよりかりかるふ程をもりをあらはせしの歌
僧乃作ふ酒ひく織細布や錦木のゑ度百重を敷
[illegible]
[illegible]
[illegible]
細布乃ごく織男乃音ゑ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つゐに山野海岸ふ紀ってわれ武士の鎧乃神仏ぶ
ちく深も波乃上ぶ月日ハ毎年ぶ此ぶ所を経
有時ハ山脊れる端しみ及ぶの中ふ海もこと
ある夕浪れ立くる音やと風明ぶ乃ぶ年の
経るにく敵をしるひく世のぶ志動もるらよ
なりまる学れすも行とつる因果をや名号ふ
事叶ぶぬ社うき世ふれるもぶ程思ひ
へをふあ乃さゆるの頃ぶ若ってぶ後ハいや
まる世のあってぶ変を東南乃雲をこそ西ふの
ゆさをもる責くれ埋るうき所を理り給ふきか
ろるぶ順世ふ祈ぶ仏をまぶ内乃ぬ程ってのう
き世やあく程りれうきこそや うろ是も四ゆくう
人の情れ恵ふぶきく四とを手をやもつきてもか
ちく人ふ四ぶるれ乃ぶ月 あやるるかめん
久人と常度ふいるれ乃ぶ世山陰のをやるるさ
らりと因后ってぶ可も山路乃菊れ頃とのまるよ

男年

面白き山水ぶ乃ぶ曲とうってハ流ふひるく曲水
乃ぶ年まる乃ぶきるる初めるく山乃や滝をまるぶ
為年ふ乃ぶ塔の遊僧まる延年の時乃和尚ぶ乃か
る山ふ乃ぶ高く嶺ふひるをこそ なるハ波ぶ
水 なるふ鄙乃ふ乃ぶ巌ふひるをこそ
ふくたくやぶ乃ぶ月日をそそ絶ふこそうく
くれるふよりてぶ名れ乃ぶ月ふれ乃ぶ所寺乃ふと風
あくま毒地乃ふとの乃ぶまてる四ふるぶ注異四ふるり
きる

盛久 六十五

りまるれる我世を為ふ日お須ふる為ふ彼ぶ紀
を御讃ふ乃ぶ月わき世時節刑戦る迎ふ多意
つるぶ所為ふやよく 和ふる海乃の一名
「月」まて薬師ふ「ってぶ乃ぶたるふ古寺ふまる明
れるふ秋乃ふる「天」屋明ふるうちふ思ふ乃ぶ旬
ふたき給ひ思とみふ世給ふ老僧の音楽の袈

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

男年相二十

雪と迫くに筆乃かたち[illegible]

[illegible]

[illegible]

ハカリ
立夜華

[illegible]

[illegible]

[illegible]

男舞

[illegible]

七月廿日 六月の部 [illegible] 六十九

[illegible]

西王母 七十

[illegible]

五月廿日 [illegible]

[illegible]

サカリハ [illegible]

[illegible]

ワキ上ゲ [illegible]

[illegible]

[illegible]

水年生經て終よ成道し給ふて大聖世尊と
なり給ふ老子[illegible]
[illegible]西王母と國を[illegible]西方極樂世尊寺仏乃
化現なれば[illegible]
[illegible]命ル仙人と成り[illegible]
[illegible]三千年に一度[illegible]
なる桃の果乃仙藥と成り[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仮定りたりいうひく仮とをひきあり

拙き辞ともも叶はまし拙きの中八くの賀

山てくく庭中の叩けや　わきの面垣戸叩

やるとの中に[illegible]白ちとうの小高の神ちとこ

るや旬拙ふこうくとうりもするを老乃浪の

[illegible]乃ちくたちらぼとうきの旬拙ふ面白や

[illegible]乃今叩叩る年の辛の曲くく七徳ちくち

七拙ふ勝とを風しくく仏をうやまひ寺ひか

ひ庭縁とたくこ[illegible]ちにい寺福林

ま称ちく千秋楽ま[illegible]百厳華ま

命とのるる法乃遊とまくこの他ハ移上は

[illegible]木徳樹ちこ[illegible]ちとまりてみ者

一味の白風と[illegible]くく拙くくこ乃とるひ

唐て仏ちもちに[illegible]ちこ社ちひの

[illegible]ちく拙ハ百八煩悩乃拙ハ百八煩悩を

[illegible]敬ま社ちの義ハ光り

[illegible]ちる小世法ハ経ちとちて大唐ちりも波ちま

傳大士普建普成ちくくそ[illegible]ハ結卯ちとく

ちの[illegible]ハ[illegible]れハ彼ハ経ま値遇ハ縁ち

四[illegible]ちく[illegible]徳ま紀ま寿[illegible]ハ[illegible]

四の中ふ海ちく法乃毎のちち浪ちく[illegible]ふ

[illegible]ちく[illegible]ハ[illegible]ちく[illegible]

小乃[illegible]ま[illegible]ハ[illegible]法ま術の邪れ

なる[illegible]ハ稀ちる上人乃結縁の利益仰ま

[illegible]ハ[illegible]ちとちとちをあるく光

[illegible]ちく[illegible]ハ[illegible]行道乃利益ちま

ちちちちみくく法ちる者ちくく　月ハ白雲

仏ま乃[illegible]ハ[illegible]ちま[illegible]ま言

[illegible]ちく[illegible]ま[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ちく[illegible]ま[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ちく[illegible]ま[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

一代の[illegible]の箱の[illegible]を[illegible]人と悪くあ[illegible]人と善

建[illegible]の三[illegible]

傳大士[illegible]

[illegible]人を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

和歌

七十四五

上皇

國安全長久乃ゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

我くにのきたるあめつちも皆ある人のうまれ出るなり
須臾命は行中ふれるとかはらぬほどなれ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一日　　　

樂

[illegible]人も歌向　芸落も家ぶ天澤[illegible]
色まで四く手の[illegible]人の教　うちの[illegible]色の
[illegible]吉水の[illegible]海とどうつ[illegible]
引き行の手四の年号は右紙や而白や[illegible]
[illegible]紙帛樂の[illegible]や杉の色[illegible]
涼白早もあひ行の宮の[illegible]や鳥鵲の橋の[illegible]
[illegible]二星のやう[illegible]
[illegible]人間の水は南[illegible]
[illegible]の波[illegible]
[illegible]月の嘯[illegible]水の[illegible]
[illegible]樂も時[illegible]五更の一点鐘
[illegible]の[illegible]八聲のほの[illegible]
[illegible]教[illegible]
[illegible]
[illegible]

梅枝　七十九

[illegible]
[illegible]
[illegible]

楽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

樂

[illegible]

三笑

[illegible]

八ノ年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神通の力もはたらきなく沼尻にはよくうゝ倒れ[illegible]地王
まろこひ雲ゝりかゝり雷電稲妻大地よみちて大
雨さゝ[illegible]洪水とゆく立白波ゆ花うつゝ[illegible]
浪あらい移ゝくまく竜宮まろ[illegible]

三輪

中も洪数湯ゆうやまりく神方まゝ五濁ゆ
まゝりゝ志りゝ四八足蛇凡大和の国ゆ年ゝきま時
乃苟あゝやちゝとこゝ函根ゝゝ[illegible]
きゝふ化まゝ浜人ゆ[illegible]
むつゝとふ[illegible]
勿乃書ゝ行とゝ西のゝ[illegible]
きいと四人ゆきゝ[illegible]
きりとゝ[illegible]
駒乃とゝて金所ゆやゝ[illegible]

まゝ琴もこゝ[illegible]
ゆゝ乃ゝ[illegible]
針とつゝ[illegible]
ゝ[illegible]
ものゝ[illegible]
山中ゝ神酒や[illegible]
海まゝや[illegible]
ゝ[illegible]
ゝ[illegible]
ゝ

[illegible]

龍田

八十三

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神楽

[illegible]

ひきつる

巻絹

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

室君 八十四

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出雲

[illegible]

月ゝ[illegible]明神の影[illegible]乃[illegible]容[illegible]

[illegible]

[illegible]日月[illegible]

[illegible]

[illegible]

坂の上田村丸大同二年乃春の比草創有り世乃ゆく
と音羽山麓乃古井えのもとに石ぶみ乃紀清
水を流まを張り洗うんある時い亂の水五色まみ
えて落ちれいたれといのやめ山より入る水にて寿ち
ごん寺ちんれ元乃洞ちぶ乃の流まを堀ぬく名を青
柳乃杉木有て来ちゝ柳ちゝ観音ぬ北ちゝ
ちまは柳ちゝ新ちゝ成ぬく楊柳観音ぬ北ちゝ
ちくま内ちゝかと皆人ちゝ合を祭ちゝ寄ちゝ
らちゝちゝと申せは杉ぬ柳ちゝみちゝ柳小
あゝ成ぬ来ち皆白柳ちゝ祭ちゝ千ちゝのち
ゝ祭ちゝ来ちゝとゝ乃世ち白
なり 柳ち我ち成ぬ
ちゝ山ちゝの乃世七川乃寿天狗よ
ちゝ祭ちゝゆちゝ山ちゝを思ちゝ社ちゝ
ちゝ祭ちゝ山ちゝだちゝ祭ちゝ
ちゝ山ちゝ深ち思ち五寺観ぬ杉山乃つ
ちゝ成ぬ北ぬ祭ぬ

分うカウヨ

ちゝ山ぬ世乃境ちゝ見ち城と申ちゝ
ちゝ祭ちゝ京ち山ちゝ祭京ち祭山ちゝお
たこ祭山ちゝ太郎坊乃野乃峯ぬ法師坊ちゝ
歳乃ち嶽ちゝ
なちゝ祭ちゝ四ちゝ社月の横川ち
ちゝ高ち祭山ちゝ大峯新乃
嶽ち富士乃ち祭ちゝ
祭ちゝ行ちゝ起御時ちゝ
ちゝ祭ちゝ四ちゝ
ちゝ祭ちゝ
ちゝ祭ちゝ
ちゝ祭

[illegible]
[illegible]を惜しみ月をみるにも[illegible]
罪障の山[illegible]
[illegible]乃光晴れ[illegible]
明の[illegible]
[illegible]
[illegible]

あ南無三寶、うち敷もかつて弟ひちりき
[illegible]
結髪ども小笛楽の花ぶさの遊ひと宮あを
行とたつ行とくくるや水と渡つく萬法こ
[illegible]
[illegible]

自幽西士 八十九

一宮の山寺とつる迷ひわりの中をたほす
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

玉葛　九十一

あくれば宮の玉葛のかきてもいかや知さるべき四つてのの
こゝ[illegible]
これまの月や舟のうへ[illegible]
きのうの[illegible]
四つのくら漁たちのくるとのれいた
やあの家をかくとし松浦ゝ唐土船をもてひめ
ごろろ[illegible]
行くゝまろと白波[illegible]
[illegible]
うちつけやうきめを水島の海をまとゝ
[illegible]
あやはせ宮の大和路や唐土道も図のゝ
[illegible]

知[illegible]
[illegible]
詠めきぐもの逢瀬も松の[illegible]
[illegible]
あ信ぎけの源もこゝろ[illegible]
[illegible]
緣あひ[illegible]
[illegible]
[illegible]

のねぶりもうん　もとうれゆく宮日和　五月雨
高雲霧乃ゆく　遠ひもうやうきんを和歌の
山風ぞ　さくせちく　霧もかくも　彩ふあさ乃
乃月も　朽果ぬ　くらやうこうんを　世をを
偽らん　人をも　無邪も　思ふ　吹物　の　報ひの　罪
や物　くの　くれ　ふ　ふ　も　懺悔の　方　頼　ひ　わ　ら
つ　ぞ　ら　ふ　の　思　ま　ぬ　ま　ひ　ぞ　こ　ら　ぬ　や　物
り　る　も　と　み　る　を　つ　め　ぞ　堂　み　み　れ　つ　や　影　を
り　の　も　慌　く　や　と　遊　毋　鏡　と　ひ　る　く　乃　ひ　る　を　ま　め　も
ら　ぶ　ら　真　船　乃　ま　ら　つ　ま　ら　く　夢　路　ば　え　み　ま　と

浮世　九十二

ホ　ま　ま　の　物　す　も　わ　ら　ぬ　み　れ　す　む　き　し　き　を　や　あ　ら　ま　と
つ　す　い　え　遊　ま　ま　ら　い　ん　く　あ　ま　ま　ま　ら　ら　ら　ひ　き　ら　ま　ら　ひ
あ　ら　ら　ら　ら　遊　毋　ば　の　ら　る　中　わ　乃　俳　和　る　と　ら　ひ　ら
り　こ　を　ん　く　も　の　つ　く　ぶ　ま　う　ら　く　あ　毋　と　ら　ふ
ま　ら

ち　ち　ら
ま　い　き　る
し　る
ま

[illegible]

カケリ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

を高砂の尾上の鐘暁の[illegible]

[illegible]

音[illegible]

[illegible]

[illegible]

一樹の陰一河の流れ　[illegible]
[illegible]
て花の鏡と成水の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

カケリ
ス立ノ
ニモ

[illegible]

山姥　九十九

一洞寂寥の谷の色猶山響く山ひこに[illegible]を拜音を吹たりとあり色も緑黄なるもれと思へもろく[illegible]やうにいとゝ物さびたる山家の新冬にたゝりて海辺[illegible]谷深くして水遠し前は海水高うして[illegible]くに月をあれ[illegible]をかき後は顕れきらずして[illegible]音楽の音を聴る生霊人を取ちく宮を[illegible]ひ二吉澤のそばに鳥[illegible]も[illegible]

[illegible]

谷澤の水は[illegible]紀元せを[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

七月

八唐渡天とゝまり給ふ〜ゴ公五乃山より五天竺とうつ
摩邪の誕生伽耶の御道統を摩訶陀 慶林乃
八滅度とくやこゝ世もゝ〜 智こゝ小御法八陀御
四年の神れ者我八時風雨行そこて叫きこゝ
ちるなりく 神祇すゝ小あゝるゝ乃
うちうゝ之ゝ 毒日蝕之乃者界とゝり
くゝ界ゝ小仏神とゝるゝ 小きゝるゝ
時ゝ大地震動ゝ小界の龍神乃ゝ之ゝ
大龍王より 聖法御王 安御産竜王
和泉吉祥王 信濃御産 龍王 百千
眷属引つれ〜 平地水波漲
水ゝ〜 代法を聽ゝ
ゝ持法恩邪御王 楽乾闥婆王
御産河瀬産王 産候河瀬産王乃恒沙の眷属引つ
ゝ〜ゝも同布産引ゝ 龍ゝ之ゝ波瀾のゝ
ゝ白海ゝ小ゝ白海ゝ小ゝ之ゝ

大雷雨十七
仮同ゝ
出仮ニテモ
早苗ニテモ
別也ニテ

○祈御

色とうつるゝ乃原や沖ゆく乃月のゝ乃
ほの川つゝゝ乃ひゝ
大龍王乃大龍王乃
冠とゝ山を乃月乃日蝕の月
大の節分ゝ
摩邪の誕生伽耶の法法
乃八滅ゝ
唐ゝ 渡天ゝ
ゝ界ゝ 御ゝ
女ゝ南方ゝ 龍云行ゝ龍神ゝ
ゝて〜無ゝ
地ゝ蟠ゝ 地水ゝ

善界 百一

外ゝ月ゝ悪ゝ相ゝ
製ゝ品ゝ島ゝ
悲願ゝ
魔境ゝ
ゝ仏ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寸八雷音
大八三三

山乃長宝に寄りておのづと生えたる
みちくに高稚子姫つむ人乃跡をたどりて高市
小山諸句 拙車輪はなにに車僧我初貢ら者あ
らと慣四乃四路あとあるうんや恋しく法欲心
ひらく稚るかくる函僧麿道すし四をそよ車僧
苦密三りハ函輪乃もくく 仏法あまたハ世法乃
煩悩あるハ苦提あるを 佛行ましハ流せるある
車僧ゆまハ 本部坊乃行者も有と初らハ祈な
ら行ハ行徳をだくるまゆくゆる車
僧行くハ苦 いたハ法ハ法ますくるんがあるく
行くを我ハとくくるを増ふ減ある面白の時節
やあ 言れ中ちき財ちるは宮中にくる函をく
ら法ハの高ちく法ハ法ハ苦 おろく遊ハ函
ハ我四をハひるをや かとのハひるく方ますこも
つをオイ上車をくり あ車をそたん法ハをさ牛
をくハ法ハやくを車ハ四を中拙ら法ハ函

もハ法ハくを 昌ハ中法に牛れ道ハをたくらをハ
ちくらを 牛ハ拙ハ牛ハ拙ハ牛ハ 拙ハ僧乃くらハ法ハをさ
牛くのすびてくハくハ露路の白牛ハくを又をんと
拙ちをあちく庄ちをくくてハ 函函やか法車の
くゆる紀四ハてを迎ハ足ハ乃車とみをつる乃牛
くくを人心ひるぬみ函をくくくくくくをそを車とを
ゆくを法ハ小車の山乃ハ乃ハ法ハ法の道
の遊行くを法ハ乃利益あるをや一乃ハ家
ちを法四乃ハくあちハ海ふかき陣の車の
わくをハあくハ乃ハ法をくハ法ハ函山乃
ハ法ハくと法のくを函路をハくくふ ゆくを拙ハ敬の
法函悪 ちをくを函雨をくやうてもゆく法
ま山をハをくむ 法車乃ハ法の力をく蓮小食
お井風乃ハ乃とをハをくりくをんまくすをとを
ハくくハくくハ城に寺持乃ハ車僧ハおを責ハ拙を
ろやと慶淳とハくくを大天拙ハ法尝中をくくろ

[illegible]

大舎　百四

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

善知鳥

[illegible]

[illegible]

[illegible]

河漕 百六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出版系統

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出板系統 見法界草木國土安皆成佛　方程非精皆悉成仏

道　彩雲　たの貫　五十二類も我同性の淫

樂ゆひくるまく鼻の乃月のうつる海ひつる是迷朱

まくらの紐やなみまやの月前の恭く者をそれ八面を

積文字小くゆ　変化乃姿さたそろの

方便やか　切も我心忍命道の変化とのつく化法生法の

清らかんとも嫌ちく　遍滿しく東三條の林頭より

皆く花紅ゆ　計のられくふ法敏のうまやひ

ものと　即非惱きまうるる存をのやまてゆ

たまくきふるもも我のわさまといかをかまふ

ひとくるルくく類改陀ルくまあれ八変オうきて

落くらくと地またをれく隠る滅き事ゆて

改の寄きまり八法乃法羅をあくろきくと今くて

昔をくまたま法所感と所感あくく御る王と云ル

鈴と教改ゆ下ルきくをくられ鈴法法くくて法さハ

をれり法ゆまれ命報をとつきれ八法ゆ

ゆ八ほうあ法をも雲井ゆおくゆ山と行くま

きれく芳りまゆ右乃ひ月をつくたれ神をひろき

月をとくく月ゆ魚くゆくくく月乃ゆ法ゆまゆをて

ゆくくくくゆ法鈴を法くルく前をまゆくくまて頼改

をゆくあきて我八法をのひくつほあゆゆくいまくき

く淀川のゆとくゆくゆくくくくゆくゆくゆくゆくゆ

ゆの屋乃ゆくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

時をぐくそとい悪人ゆえくも善悪の四を以き中
をぐ信仰と信強をるるうんぐ乃結縁四りはつ、
仏果を菩提おいく仏つ〻ぐる付来のうあく社他を苦
をくぐ力るはしく

項羽

振くふうふ敵法の色をくぐ波ふうるれる
とるるるる貴乃わく敵吊ひの敏若乃船のをつく
甚をつるとうく法の四を老りは辞をあを一切有情
教宮之界ゆ塗悪教　昔八月四雲宮らかこ
凡今八推敬野四九月烟体霧みく古松下ゆを
昔給くうて四銘を堤也　愛乃宮向ゆこきる
四方八天津し世乃ぐをくへふ　と乃く敏楽を奏く
作ゆく宮乃つをく弾法を説楚乃四面小国声を
上をゆみ桃四乃貴朱をを弟あるを弟の若意や
かを虞氏八思ひ場るるぐ八れ思ひ塔急行日
をく高楼ゆのりをく宮るハるく源の雨乃四

を殺むるを敏ぐを項羽八虞氏の別を我別
乃敏ゆく草宮の露消くを消果ゆ少を思の三生
は鋼し鉾も皆投捨ぐ分をくく斗を悟乃
ゆ和信ゆ義ゆるを乃ゆれ行きをんゆほ
ゆ義をゆをんゆれ乃ほの立ゆうく作
味方をみをゆ敵小虜ゆてをる敏乃若き
色しをけ八敏立ゆて物みをとゆるかを山敵を
ちるを宮ゆ八投をくみゆ八引を移ゆ百ゆ
ゆうを行ゆ敏ゆをいを宮ゆ遅を発
を馬江の節迷乃ぐを敏ゆ若とゆなるゆ

野寺

ワキ　ゆ敏寺物ゆあるも先行徳の敏ゆと思四を使
ゆふく宮神の徳きる塚の前ゆく所勝をくき初
をゆ我年約乃功を作ゆる法力の為ゆゆ宮神
為明鏡敏ゆて我ゆ寺物を人を敏ゆ南義依
仏　右翁や天地を動ゆ宮神を感せゆ　山砂山

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]て門の清きを我友と頼むを霧の流れく
[illegible]羅漢ふ仕へ[illegible]天[illegible]
瑞門のうつるも影[illegible]と[illegible]
雲紀行虎嘯[illegible]
[illegible]
見[illegible]山陰の処つ[illegible]行林のこゝろ[illegible]巖
乃流の立ちて[illegible]
如[illegible]
下道[illegible]
[illegible]
[illegible]

早くて成きこえれども千頃くらこそは如
き者か門よりは名沢元弟なりて有まりきり扨行者
のあり　なけ東崖の如きこそ見えば年九拾十二
三ばかりなる者小分にて切く迫りいい
なるく蛛蛛のごとく飛るりん　扨もこれも良
久弟八是はこれあやくとてで義切くへ
ものを倒の小男わこう合ぞ弟の者のほうくひ雖
一丈ばかり落しかるりん　ものいく行とく彼者
兄弟八年ものを若五十許百騎よりは増しすれ物をあく
切をこり切こりまやつはくせ者よ　たくせの四郎ハこ
まをこくぞ後の東対あくるとやはりきを
ぞ芳七十許りて引く切てい　まやつをかふ始
兄取腰病者扨東崖のうくまいりふ　一の東崖
を切こく落しこれ東崖ハやこりこをあくるけ
ひてていいこりこりつるくこ　まこう大年よぞ
ま東崖のくくてとこりこぞたいまつハ軍神こ

乃東崖ハ時乃運こ乃神おりの今ばりふこりこりつ
ら流くるくふぞ後の東対ハ扨ふ　後のこと
ぞ述まくふくハ冥神りくてもこまる所くいい惟
引く出切りこ　こりく深も合れ有くこりこさい
こ切くふ　ものこてい　いや熊坂の長範乃今後の東
対をもこんしてげくふ面をむくきこ　ぞ責へや若
若りとこ大音あきこ　ぞ切をけこつて
切くへこりこ　やこのれくよぐくこよりあを
こもこりけこんまるこりこ　こりこりへこ倍もまちこん
あまこ稽もたこけでやこりこ　あをここちよこくこ
沙魚くこ　扨坂の長範六十貫ぐぞ青紅幻
東対をんこ鉄棒を切んぬき拾五尺三寸の大を刀を
ずこりこ　ぬひくぞくこ　こ節大多歩こ　ゆこもくこ
あゆくこ右乃肉をいい成天魔冥神も面体むく
こ　こ　こ　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

正言 百十世八

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行[illegible]わかはとあつく又人を行ちのひしに内ふ
長刀乃元年とうあ[illegible]と[illegible]
わ[illegible]と 長刀ゆ[illegible]
[illegible]
[illegible]

頭註

[illegible]
[illegible]の伝奏をもつて[illegible]
[illegible]時[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

源討當我　百九二

今當代の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

向丁とりひくたかして海勝をとるみくのうちに
倒まてくごう也物人不見延命の儀ハ無也
長命無病いく延年と云まくに物の色を知こと稀
捨日比念珠持仏堂の床の上ハ之わり浄土也
[illegible]と合せ彩
金をとり[illegible]
[illegible]ハ傷大事
[illegible]ハ冰
[illegible]
敵の兵くひをとらく[illegible]
サナワテ
[illegible]事社あハせ[illegible]

回病

百卅四

ワキ上
ホ 古稚や[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

孝とおもはせ七寶の露とうるおし龍象ふかき海を満
る恵厚の雲密布水の珠玉のつゆをはらとく
中抑と申すは一初祖の門徒曇摩三曼陀羅日羅
教いたに行者なり内外の法を学ぶ者なり
縱いかる悪人なりとも行者の法力にてきくとも
いかにて珠玉を抑とし東方小海之世明王南方
軍荼利夜叉明王西方大威德明王北方金剛夜叉明
王中央大聖不動明王曇摩三曼陀羅日羅教施
陀摩訶嚕遮那密厳の耶叱の羅吒于鑑聽
我説者得大智恵知我四者即身成佛あらく
おろかなる人なれば是を強人とのうまこと
朱の命一讃嘆の声をあげてくゝ悪鬼ども
らを恵厚恵恵乃海の中にて言語しかよ東迦と称仏
得院乃ゞとのりゆくゝ有為さくゝ

あ達磨　百九七

又異説ニテモ

但きくゝ者てゆくゝ　仏ニテ上　当ふあまこが宮備ふまん
とおぼしめしをつくゝ国乃ゝもとおぼしめしまつ
ゝ悔やみ給ひたりおぼしめすむのとこうおぼしのゝ感湯言乃
煙のゝくゝ　梵天山風吹落ゝ　ちるゝと稲妻天地
ふみちゝ　ゆるぎ乃ゝ雨乃ゝ　冠ふくゝ
歩くゝる足音　ゆゝ乃ゝ兵鉄杖乃ゝいきほひ　あらう
と振ゝたりゝや　東方小海之世明王　南方軍
吒利夜叉明王　西方大威德明王　北方金剛夜叉
明王　中央大日大聖不動明王　竜吟雷吟雷吟旋風
摩登伽竜河昆羅吐多密婆吟吐多阿吒于鑑
見我者者者者者　聞我名者者者悪鬼者者者
我説者得大智恵智知我者即身成仏者即身成
仏と明王乃きくゝよのきくゝ貴りきをあのきゝ
ゝきゝをゝりゝくゝさゝりよ　今生ハルとをのゝ
ゝきゝをのつゝ宮ゝ御ゝ　ゝ地ゝ
ゝとつゝあまれこゝくゝ　ゝとはゝゝくゝやたゝ

[illegible]

鉄輪

百六世八

世六行ゆくて[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]とどろくるもものとのにはゆるぎくるもの
だうろのつし綱ハ[illegible]ありけるを

紀家持　百卅九

梅の花酒をあくるあて紀家をたくとりやどる面白所
くらべほの上乃ゝけ造ハ[illegible]
[illegible]世乃人ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ行の紫乃つめ討
[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

大江山　百三十一

一説に二山王とたゝえ称するハ四明
ひ[illegible]ハ[illegible]ん[illegible]ま[illegible]て金[illegible]そ[illegible]
法眼の[illegible]
し[illegible]
[illegible]を遠し天の橋立[illegible]の海[illegible]山の天狗我
[illegible]酒の
[illegible]
草枕[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

遠江の国の住人孫平太郎 母衣のかさ切まてをの
たゝをとをはをて唄ひうそ号たり
生れ死もみく俄なる雨はの音をくや時
節つ紙のあふり 月恩寺や文行月数のゆく
ゝと ゝ ゝ ゝ

[illegible]

平苗堂

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

早苗カツ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

カケリ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

雷電 百四十一

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

須戸源氏

[illegible]

[illegible]

出版録

早年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

早苗

[illegible]

五月雨

[illegible]

海士　百四十四五

[illegible]

早苗

[illegible]

[illegible]

[illegible]

早華

海はるかなる世のことどもを御覧じ入れたるに、我が
身のうき世にまさるもののなかりけるかな。偽の
松陰より明月の面を望む。月宮殿の白衣の袖もこの五衣
中れ新月の色ちらつくやうなる袖、こまや
桂の枝ふ、えをとどめ、花ひ、衣もあらはす。
白河の滝、三毛の白や曲水の面ぐるりとうつる。遊宴
の袖、あるいは面白の遊楽やがて明月の五年まで
和月の雪くるまで歌も楽もきわまりなきの風流
の賞、えを西園より八日のいまをきれば歌まで
多代のすぐれたる八月の方面もきっと
くるの、青陽の春の始まり、震地の遠山
貸の色は二百月の影を毎日をたたえ、
水中の魚、鳥や鶴と鳴く。雲上の鳥は、その陰
にもあるく一編も清くして、万水も上下の鳥
遠の樹の宿の魚、月は流れ流れ、おとものあり
春秋の面白き鳥もあるく、錦もあるく、はもや

高砂の方に陸奥の方に成るとある世界は
みなく月の都の陸奥もそれ
歌やかこの方の面歌

當摩　百四十七

サ　長治息女中将姫、世のことを
ホ　日讃誦、紅の心中は
所乃みく其迎あつく我を待ちぬ
乱の親今の所の
なりと知つく一向の信仰二味の定より
可小山陰の松咲も清くして
音も絶えて心耳をすまし
四乃乃花禅四月の宮のうち
小人の花乃忍ぶと知
人も人と等ぬれば
とものやと愚なり
弘法小中将姫はあまつ
我は誰とら呼こ鳥だ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の法華経を[illegible]光明遍照十方[illegible]
たく西方よりむかへゆく[illegible]法の母[illegible]
乃ばかりなく[illegible]夢乃おいほのくとうゆくを

合甫 百四十七

[illegible]行とうたむつ兄弟を殺人といつる奥れ情なり命
とつるまこふ[illegible]せ[illegible]殺生[illegible]我の涙
[illegible]露の[illegible]絶なたらと成つ[illegible]れり 殺人なるに[illegible]
[illegible]命を[illegible]を[illegible]の[illegible]もいけて合浦[illegible]
[illegible]と何の[illegible]猟[illegible]浪の[illegible]白
[illegible]を[illegible]くもまるふ[illegible]ひまふ
[illegible]ふ[illegible]り 親[illegible]加童[illegible]を釋[illegible]
[illegible]京[illegible]の[illegible]の白
[illegible]命を[illegible]を殺[illegible]人[illegible]浪立[illegible]
[illegible]

但し仕事[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ハカリ
三段筆
相模

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十

まぐ畫き取帖しろうぐたきれ

檜垣　姨捨　梅　李月桜

團扇　草紙洗　鹽釜川　磯潜

照君　檀風　感陽宮　鷺

雲雀山　鳥追　郭公　竜太敏

五車　木賊

檜垣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

水乃音をきくゆゑ是まて[illegible]
あたつ乃音をきくたゆまぬ[illegible]の水をそこ[illegible]
[illegible]

吹捨

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

水無月祓

[illegible]

あらハ祓ひのきくまもつゝ[illegible]月の祓のまくまもつゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よ

平神流

日影あらわるる程は多仰迄松ゐる千代まもく四海乃波と
四方乃国くを武乃巳代しもさるぬ世代くそ安泰
乃住例なれ[illegible]わ奇の[illegible]たてはたくらねの山うて
ゆさ乃ちのこれ守り給つる神国なれい花の都れ
春も長閑よ花乃如乃まもみとりに和奇の道と
[illegible]

盛澤川

[illegible]社と申し奉り[illegible]の都といて[illegible]
こうこれ境よいつ[illegible]
流こ喜模湯乗よいて[illegible]
く受乃[illegible]よ人少[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

破潛

[illegible]
仰乃[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

檀風

若く行乃馬より夏去乃月をこそ[illegible]つき火とこそ
むとあく清水に[illegible]
行もれと清水をほそ[illegible]
[illegible]
[illegible]

同キリ

右我朝小見神祭をたまふる日ゆゑ[illegible]
[illegible]
[illegible]

改刪

きこえ無野のちらひのもこう物たきれ

感陽宮

上右

時うるくと程曲こひくのるまて前行ら
ひろたる所衣れ神をひの切く屋ひをたく
こえ陽えの乃ぐきこるるほひ霧の白い
甘くれちく樹子をもとるるぐうぬの
沙程ふをちのくきたをたひくえ前行き
いうるるくつくを帰よるきれい蹴をい
いくき薬の代をつるるふ合をくるけとあを
ものるる帝又行くきをぬくく前行をも参
華陽をれやつれきふさうを自息ようあひた
りまて甚度恵丹古あも移ぬく七年参の
四代蔵をたもちをまるの眼見きれきの
翌れ程曲ありのくうをたたりる

改刪

路島

改刪

ぬ者くふ恵岡の陰ふ移ひうり移ひうり

改もう奈
えるや

くを岩岡のうをうりんとをれ八代を路を紀
羽代をえくをりとあるまをかあくふれむ前
うもくがりきつ宮ふうりあまをよきけ勅
設をも勅発ととををりをあるをつ
くを九方に九坊りを物ををれ地ふをはくき
ぬ前紀旅よりけ宮かて前あくを恵者
勅帝新をやをくを皆人蔵をを石伊居
玉法のかをを時乃たりとく能島まても地
ふ者をく蔵をまかのあ有くるや

雲崖山

上右

山をところ乃うれ乃木に学をもひ草を変
て鳥乃移ひくふ程と表れ花をれ少てあひ
あくをひろひふ見ふまして呂位のれてるのれ
ぬるや女帝八代をあるき社宮先人ぬ生ぬるら
をれめまにやうくとあるもかん乳母
沙を残りをくお無るのをまくせく出花ひの

四月ばかりの都の八重桜ちりぢりの路をもて
たきまどろむぞちりぬる月の夜ぶき

鳥追

世上ハゴルとハ昔伊勢の遊廓の小田吉も秋の夜
ちやくゆるとた迫廻　松ヶ枝より夜人ハ
家と家あつき橋ごの木れ望よ張りこ五常
ちやきちきりを乃ちと落ちりひそ叩り音
すちうちうちゆりあまき

月一順

あまくみのや　ちちの毎ちも　うの敏
ぐくうちるこの村をちぐ山ちをたく
ちへ板ちつを太敏をちうぐと凡のうつ百文
波乃花若よりちをちをあへ屋く水鳥
ひとせちく来ち時ハうえ動れうの衣を
うちうちちもみちやとそばとろ先へ
すちやあちも乃偽うつとうや恨うへ

日ふ婚もしちぐくあるもいふ
人の涙乃枝をへく四百乱まへく我四ちと
ろもとふよある敏乃猫なき柏ちも
人やきへ流ちつやハ家を親まて
こち乃月の沙海ちうさ敏とちもまち恨
ちとちやうハ四九園ハまへ
く材当の沙くいちは乃雲ちを乃り敏
いぬうあの坂のゆのつちをるう引まれ色敏
ち敏ぐちつまて移もいまちふよ

花筏

青
ちうちうやぐくせちませよ月のとうへと日
月を地よ落をまへちりもき敏花へをを
あへきれやあへうぬ乃ちを花へく
天のとうめもたちまへ乃ちを猫ちあへり敏りて
ぐちうとへちる役氣へくものお役い
やいまれ出ちを敏ちを人ちへをまを乃ちを

[illegible]

紀道成のことばにやあらんと思ひまゐ

比叡山の[illegible]

[illegible]を手向れ和歌

天長地久と祈りを[illegible]

あいさつ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

竜太敏

[illegible]

玉車

[illegible]

[illegible]

不賦

[illegible]

[illegible]

寛政四歳壬子仲夏